

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成18年12月14日(2006.12.14)

【公表番号】特表2006-516776(P2006-516776A)

【公表日】平成18年7月6日(2006.7.6)

【年通号数】公開・登録公報2006-026

【出願番号】特願2006-501572(P2006-501572)

【国際特許分類】

G 06 F 3/01 (2006.01)

G 06 F 3/048 (2006.01)

【F I】

G 06 F 3/01 3 1 0 A

G 06 F 3/048 6 2 0

G 06 F 3/048 6 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成18年10月26日(2006.10.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

図2は、自動車内の温度調節器のための本発明の制御装置10であって、作動要素12と、作動要素12と接続されかつ自由にプログラムすることができる表示装置18と、ともにオペレータアイランド28に組み込まれている制御装置10を示す。図示する典型的な実施態様では、表示要素18の表示面は、制御装置10の異なる機能を表すことができる5個の表示フィールド20及び26に分割されている。表示フィールド20は、対応する機能を英数字記号の形態のグラフィックオブジェクト24として表示することができる。表示フィールド20は、いわゆるソフトキーを形成する。これらは、ソフトウェアによって所望のやり方で割り当て、改変することができる多機能制御要素である。図2に示すように、ステアリングホイール、ボディ、フロアスペース及び座席のための温度制御がこれらの表示フィールド20に割り当てられ、各表示フィールド20の区域で作動要素12を押すことによって選択し、起動することができる。表示フィールド20に対応する機能の一つが起動されると、その対応する機能が1個のさらなる表示フィールド26内でグラフィックオブジェクトによって視覚化される。図2に示す典型的な実施態様では、起動された機能は、座席ヒータのための温度制御を表している。所望の温度は、ノブとして具現化され、オペレータアイランド28に位置する操作要素32によって変更することができる。対応する表示フィールド26の区域は、操作要素32に隣接する作動要素12の縁まで延びて、そのため、操作要素32を、ユーザによって選択された対応する機能と間違なく対応させることができるようになっている。オペレータアイランド28は、プッシュボタンとして具現化された3個のさらなる操作要素30を含み、これらのプッシュボタンにも、対応する切り替え機能を割り当てることができる。本発明の制御装置10は、比較的低いコストで高度な操作安全性及びフレキシブルさを提供し、それが多くの用途を開拓する。